

日本医用画像工学会 2014年度総会 議事録

会 期：2014年7月25日（金） 13:45～14:40

会 場：東京慈恵会医科大学 大学1号館 3階 講堂（A会場）

出席者：出席80名 委任状73名

- 議 事：1. 縄野会長より開会のご挨拶があった。
2. 出席80名、委任状73名の合計153名で総会が成立することが確認された。
 3. 恒例により異議なく縄野会長に議長が一任される事が確認された。
 4. 審議事項
 - (1) 2013年度事業報告および2014年度事業計画
 - 1) 「大会関係」について東木担当常任幹事より報告され、承認された。
 - 2) 「学術・渉外」について羽石担当常任幹事より報告され、承認された。
 - 3) 編集委員会について工藤委員長より報告され、承認された。
 - 4) 広報委員会について安藤委員長より報告され、承認された。
 - 5) CAD委員会について長谷川委員長より報告され、承認された。
 - 6) ハンドブック編集委員会について尾川編集委員長代理：東木常任幹事より報告され、承認された。
 - 7) 「研究会の設置」について本間担当常任幹事より報告され、承認された。
 - 8) 研究委員会について佐藤教育委員長より報告され、承認された。
 - (2) 2013年度決算報告
 - 1) 2013年度決算報告について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。
 - 2) 2013年度決算報告会計監査報告について掛川監事より報告され、承認された。
 - (3) 2014年度予算案について細羽常任幹事より報告され、承認された。
 - (4) 役員人事について東木担当常任幹事より報告され、承認された。
 5. 第32回大会「大会奨励賞」の受賞者が紹介された。また、2013年度MIT誌「論文賞」の受賞者が紹介され、授賞式が行われた。
 6. 第34回大会の真田大会長（金沢大学）よりご挨拶があった。
 7. 縄野会長より閉会のご挨拶があった。

以上

2014年度総会式次第

会期：2014年7月25日(金)
会場：東京慈恵会医科大学 大学1号館 3階 講堂

司会：東木常任幹事

1. 開会の辞(会長)
2. 審議事項
 - (1) 2013年度事業報告および2014年度事業計画
 - ・大会関係(東木常任幹事)
 - ・学術・渉外(羽石常任幹事)
 - ・編集委員会(工藤編集委員長)
 - ・広報委員会(安藤広報委員長)
 - ・CAD委員会(長谷川CAD委員長)
 - ・事業関係
 - ・ハンドブック編集委員会(尾川編集委員長)
 - ・研究会の設置(本間常任幹事)
 - ・教育委員会(佐藤教育委員長)
 - (2) 2013年度決算報告(細羽常任幹事)および会計監査報告(掛川監事)
 - (3) 2014年度予算案(細羽常任幹事)
 - (4) 役員人事について(東木常任幹事)
3. 第32回大会「大会奨励賞」授賞者報告(羽石プログラム委員長)および2013年度MIT誌「論文賞」授賞式(工藤編集委員長)
4. 第34回大会長の挨拶(真田大会長)
5. 閉会の辞(会長)

事業報告および事業計画：大会関係

・ 2013年度報告

第32回大会を、本間一弘大会長(産業技術総合研究所)のもとに、産総研臨海副都心センター/日本科学未来館にて開催した。(2013年8月1日～3日/参加者数245名・演題数119演題)

・ 2014年度計画

第33回大会を、福田国彦大会長(東京慈恵会医科大学)のもとに、東京慈恵会医科大学にて開催する。(2014年7月24日～26日)

・ 2015年度予定

第34回大会を、真田茂大会長(金沢大学)のもとに、金沢歌劇座にて開催する。(2015年7月30日～8月1日)

事業報告および事業計画：学術・渉外 連合フォーラム活動等

2013年度活動報告

JAMIT Frontier2014(JAMIT, 電子情報通信学会MI研, MI, 日本写真学会共同開催のメディカルイメージング連合フォーラム)を那覇市で開催した。

期日：2014年1月26日(日), 27日(月)

場所：那覇市ぶんかテンプス館

演題数：70件(特別講演3件, 一般演題：66件、MICCAI参加報告1件)

2014年度活動計画

1. International Forum on Medical Imaging in Asia(IFMIA) 2015に協賛する。
期日：2015年1月12日(月), 13日(火) (1月11日はIWAITとの共同セッション)
場所：台湾成功大学(台南)
演題締切：2014年9月20日
2. JAMIT Frontier2015(JAMIT, 電子情報通信学会MI研, MI共同開催のメディカルイメージング連合フォーラム)を石垣島で開催する。
期日：2015年3月2日(月), 3日(火)
場所：石垣島 ホテルミヤヒラ(予定)
JAMIT Frontier2015世話人：瀧浅哲也(山形大学)
併催：電子情報通信学会SIP研究会, EA研究会 SP研究会

編集委員会2013年度活動報告

1/3



(1) 雑誌の発行

- Vol.31, No.4 『JAMIT2013大会査読付き論文+一般』
- Vol.31, No.5 『特集：計算解剖学(第2回目)+一般』
- Vol.32, No.1 『特集：商用医用画像システム+一般』
- Vol.32, No.2 『特集：エラストグラフィ最新線+システム開発論文+一般』
- Vol.32, No.3 『特集：統計的画像処理の研究動向+一般』

(2) 原著論文投稿・掲載状況 (Vol.31, No.4～Vol.32, No.3)

投稿数 (2012年40件 -> 2013年28件)
掲載数 (2012年24件 -> 2013年16件)

(3) メディカルオンラインによる論文公開

MIT誌の論文が読まれる機会を増加させる方策として、(株)メテオと契約して『メディカルオンライン』による論文公開を進めている。

(4) その他

『講座：超音波造影剤の生成から医療応用まで、オートプシーイメージング』企画、論文賞選考、投稿規定及び投稿用テンプレートの改訂、他

2013年度論文賞

2/3

『患者に特化した肝臓情報とその脈管分布可視化および対話かつ直感的な手術支援システムの構築』

(Vol.31, No.3, pp.176-188, 2013)

健山智子, 海堀昌樹, 進藤典, Amir Hossein FORUZAN, 林正倫,
宮脇康介, 津田匠, 松井康輔, 権雅憲, 韓先花, 姜慧研, 陳延偉
(立命館大学, 関西医科大学, Northeastern University)

概要: 肝臓は個人においてもその大きさ, 形状および脈管分布においてバリエーションが広く, 手術対象患者の肝臓に対応した手術支援は重要な課題である. 本論文では手術対象となる特定患者の腹部 CT画像を用いてその患者に特化した肝臓情報を用いて擬似手術環境を再現することができる手術支援システムを構築する. 提案するシステムは大きく3つのプロセス, (1)画像処理技術による肝臓領域分割とその内部脈管分布の半自動抽出, (2)コンピュータビジョン技術による対象患者の肝臓三次元可視化による擬似手術環境構築, (3)構築された擬似手術環境上で仮想メス操作による対話的かつ直感的な切離ラインの再現によって開発する. 本研究で構築したシステムの有効性を確認するため, 臨床外科医が実際の症例にもとづいて本システム上で対話的に仮想肝臓内を侵襲しながら切離ラインを設定するシミュレーションを行った. 本システム上で操作を行った臨床医に対しシミュレーション評価を客観評価および主観評価を行ったところ, 事前の手術支援として有効なシステムであると評価を得た.

編集委員会2014年度活動予定

3/3

(1)雑誌の発行

Vol.32, No.4 『特集:CTの低被曝化と画像+一般』
Vol.32, No.5 『JAMIT2014大会査読付き論文+一般』
Vol.33, No.1 『脳を対象とした時系列縦断的画像の利用+一般』
Vol.33, No.2 『システム開発論文+一般』
Vol.33, No.3 『特集:バイオイメージング+一般』

(2)雑誌改善の検討

原著論文数を増やす方策, 査読仕組み改善, 雑誌の評価を高める方策 (PubMedへのアブストラクト掲載など), 非会員への無料公開

論文投稿のお誘い

数年前と比較して原著論文投稿数は少しずつ増加してきているが, まだ十分とは言えない. 皆様方の積極的な研究成果の投稿をお願いします.

第4回『医用画像システム開発論文』特集号論文募集
投稿締切:2014年10月31日(金), 掲載号:Vol.33, No.2(2015年3月)

活動報告および活動計画: 広報委員会 1/5

2013年度事業報告

- ・メールマガジンの発行
(2013.7~2014.6 47通)
- ・ホームページの整備 (<http://www.jamit.jp>)
暫定サーバ <http://www.jamit.co.jp>
新サーバの業者がドメインを受け継げず。
現在、調査中。
- ・eNews Letter
No.15 2013年07月 通算No.69
No.16 2013年12月 通算No.70
No.17 2014年04月 通算No.71

活動報告および活動計画: 広報委員会 2/5

・ eNews Letter No.15 2013年07月 通算No.69

特集

第32回日本医用画像工学会大会のご案内
JAMIT2013 特別講演および教育講演の紹介

本間 一弘
羽石 秀昭

医用画像工学への期待と希望

JAMITの歩む困難な道
日本医用画像工学会(JAMIT)大会への期待
Computer Aided Diagnosis からComputer Automated Diagnosisへ

塚本 信宏
速水 昭雄
原 武史

お知らせ

医用画像データベース

清水 昭伸

活動報告および活動計画: 広報委員会 3/5

・ eNews Letter No.16 2013年12月 通算No.70

特集「JAMIT2013 大会後記」 第32回日本医用画像工学会大会を振り返って 第5回JAMIT CAD コンテスト結果報告	本間 一弘 北坂 孝幸
名譽会員からのメッセージ これからのJAMIT	小畑 秀文
医用画像工学への期待と希望 デジタル画像の進歩と放射線診断医がしなければならないこと 画像認知の根源的課題——脳内ハードウェア 医用画像解析の臨床応用が進まない理由	福田 国彦 田村 進一 清水 昭伸
お知らせ 医用画像データベース	清水 昭伸

活動報告および活動計画: 広報委員会 4/5

・ eNews Letter No.17 2014年04月 通算No.71

特集「JAMIT 大会開催告知」 第33回日本医用画像工学会大会の開催に向けて	福田 国彦
特集「JAMIT FRONTIER 大会後記」 JAMIT FRONTIER 後記	北坂 孝幸
医用画像工学への期待と希望 さらなる医用画像工学の発展に向けて 産学官連携とJAMIT への期待 JAMITに期待すること JAMITという温かくて厳しい囲炉裏端に集まる人たち	小尾 高史 北村 圭司 木戸 尚治 瀧澤 修
お知らせ 医用画像データベース	清水 昭伸

活動報告および活動計画: 広報委員会 5/5

◆ 2014年度事業計画

- ・ メールマガジンの発行
- ・ 新サーバへの移行・ドメインの切り替え
ホームページのUpdate
- ・ eNews Letterの発行および内容検討
 - ◆ No.18 2014年07月 通算No.72
 - ◆ No.19 2014年12月 通算No.73
 - ◆ No.20 2015年04月 通算No.74

活動報告および活動計画: CAD委員会 1/2

◆ 2013年度活動報告

- ・ 第5回CADコンテストの開催
日程: 2013年8月1日(木), 8月2日(金)
場所: 日本科学未来館/産業技術総合研究所臨海副都心センター
(東京都江東区) ※第32回大会々場
課題: 3次元腹部CT像への肝腫瘍の埋め込み
結果: 参加7チーム
成績: 1位: 名大, 2位: みずほ情報総研, 3位: 名工大
- ・ CAD勉強会の開催
第13回 2013年5月18日(土) @名大 (準備状況報告会)
第14回 2013年12月14日(土) @名大 (コンテスト反省会)
- ・ 画像データベース(DB)の販売
腹部CT像DBを含む既存DB6種の販売
※2014年度日本生体医工学会サマースクール用に無償提供決定

活動報告および活動計画:CAD委員会 2/2

◆ 2014年度活動計画

・第6回CADコンテストの開催

日程:2014年7月24日(木), 7月25日(金)
場所:東京慈恵会医科大学 大学1号館(東京都港区)
※第33回大会々場

課題:3次元腹部CT像への肝腫瘍の埋め込み(※前回と同テーマ)

・CAD勉強会の開催

第15回 2014年4月20日(日) @名大(コンテスト説明会)
第16回 2014年6月8日(日) @名大(準備状況報告会)
第17回 2014年10月頃(予定) 場所未定(コンテスト反省会)

・画像データベース(DB)の販売と新規発行

既存DB6種の販売と新規DBの開発・発行

・他の学会・研究会との共催事業

活動報告:事業関係 ハンドブック1/2

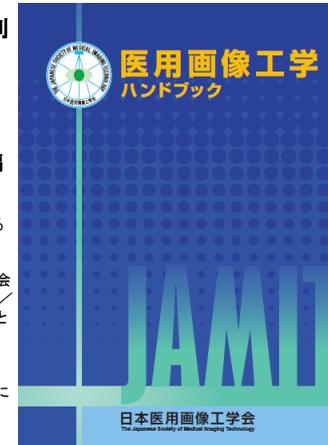
医用画像工学ハンドブックの発刊

発刊:2012年9月15日
発行:日本医用画像工学会
冊子:B5版 800頁 15000円
(会員価格12000円)

二部構成 ①イメージング編、②CAD編

申込方法

- ①(株)国際文献社定期購読事業部宛にメールする
E-mail:pub-post@bunken.co.jp
- ②記載事項:申込氏名(フリガナ)/会員の場合は会員番号/所属先名(部署、研究室名)/購入部数/金額/請求書宛名/送付先住所(請求書送付先と異なる場合は明記)/TEL/FAX/E-mail
- ③支払方法:申込後に本と請求書が送付される
請求書記載の指定の銀行口座または郵便口座に振込み(代金引換も対応可)。



活動報告:事業関係 ハンドブック2/2

ハンドブックの販売経路の拡大...インターネットによる宣伝

医用画像工学ハンドブックの発刊について | 日本医用画像工学会
www.jamit.jp/index09

日本医用画像工学会は、医用画像工学や、医用画像工学に関連する研究の進捗技術はわかるために設立された学会です。医用画像工学ハンドブックの申込について、医用画像工学ハンドブック特設...

医用画像工学ハンドブック

www.amazon.co.jp... 物理学・工学・医用工学...
2012年9月、日本医用画像工学会が編集、出版された「医用画像工学ハンドブック」(両冊)出版は、平成24年の刊行から長い年月が経過した。この間、CT、MR、PET、CADなどのモダリティについては、急速な技術発展や理論面での新しい展開が見られる...

医用画像工学ハンドブック - Amazon.co.jp

www.amazon.co.jp... 物理学・工学・医用工学...
日本医用画像工学会が編集、出版した「医用画像工学ハンドブック」(両冊)出版は、平成24年の刊行から長い年月が経過した。この間、CT、MR、PET、CADなどのモダリティについては、急速な技術発展や理論面での新しい展開が見られることから学会の事業...

医用画像工学ハンドブック - TSUTAYA online

www.tsutaya.co.jp... 医学・臨床医学一般・臨床工学一般...
医用画像工学ハンドブックは日本医用画像工学会の書籍を最新情報、レビューが満載。医用画像工学ハンドブック特設はツタヤオンラインにて!

医用画像工学ハンドブック - 紀伊國屋書店

www.kinokuniya.co.jp... 物理学・工学...
医用画像工学ハンドブック 日本医用画像工学会、日本医用画像工学会(2012年発行)、
ななまご注文を受け付けてお任せ。サイズ:B5版/ペーパー:77g/両き:26cm 両冊
→D:9784990668705 フォート...

医用画像工学ハンドブック: 日本医用画像工学会 | エルノバ...

www.hmv.co.jp... 物理学・工学...
Pointポイント使えます! 医用画像工学ハンドブック 日本医用画像工学会 | 発行国:日本
[書籍] 9784879491484 | 送料:1万円5000円 支払い方法:配送方法もいろいろ選べ、楽々に選
択です!

医用画像工学ハンドブック - 楽天ブックス - 楽天市場

books.rakuten.co.jp... その他...
4/5/10
医用画像工学ハンドブック - 日本医用画像工学会 - 本の購入は楽天ブックスで。今なら会員
送料無料で! 購入前に「楽天スーパーポイント」が貯まってお得! みんなのレビュー・感想を
読もう。

医用画像工学ハンドブック - 日本医用画像工学会 - Google Bo...

books.google.com/books/about/医用画像工学ハンドブック.html?id...
and phone. Go to Google Play Now > 医用画像工学ハンドブック Front Cover: 日本
医用画像工学会, 日本医用画像工学会, 2012 - 777 pages - Bibliographic information QR
code for 医用画像工学ハンドブック Title: 医用画像工学ハンドブック

※ハンドブック編集委員会は、発刊作業完了のため解散します。
販売業務は、総務担当に引き継ぎます。

活動計画:事業関係

研究会の設置 1/2

医用画像工学に関連する学術や医療機器産業の発展、開発技術の迅速な臨床利用などに資する研究会を設置できるものとする。

○設置の条件

異なる機関に所属する正会員5名以上をもって構成する。

○設置の公募

原則、毎年4月1日から6月30日とする。(学会ホームページや学会誌にて公募)
緊急を要する案件等は、適宜、受付ける。

○設置期間

研究会の設置期間は原則3年を限度とする。(総会の翌日から翌年の総会までを1年)

○予算

学会から年間で原則10万円を支給する。提案に際しては、申請書を提出する。

○審査

常任幹事会で審査し、決定する。

○成果の報告

本学会大会における発表、本学会誌への論文投稿や技術報告などを義務とする。

研究会の設置 2/2

オープンディクショナリ研究会

設置期間:平成25年度～平成27年度(3年間)

(平成25年総会の翌日～平成28年総会の開催日)

研究会会長:

平野靖(山口大学)

実施内容:

医用画像工学分野における基礎知識の共有を
目的とした用語集の作成

活動報告:教育委員会 1/2

・2013年度活動報告

－チュートリアル講演会の開催

- ・開催日:2013年8月1日(木)
- ・場所:日本科学未来館/産業総合研究所理解副都心センター(東京都江東区) ※第32回大会会場
- ・テーマ:CT
 1. CTイメージング技術の基礎と最新動向(齊藤泰男)
 2. CT画像セグメンテーションの基礎と最新動向(清水昭伸)
 3. 今日的なCTの先駆けと開発について(森一生)
 4. 画像診断の進歩とCT開発(森山紀之)
 (最初の2演題については、講演映像を販売)

活動計画:教育委員会 2/2

・2014年度活動計画(総会時には実施済)

－チュートリアル講演会の開催

- ・開催日:2014年7月24日(木)
- ・場所:東京慈恵会医科大学(東京都港区) ※第33回大会会場
- ・テーマ:核医学
 1. 核医学検査:SPECT(市原隆)
 2. 核医学検査:PET(北村圭司)
 3. 研究放談－エレガントな解答(田中栄一)
 (講演映像の販売予定は無し)

2013年度決算 収入

I.収入の部

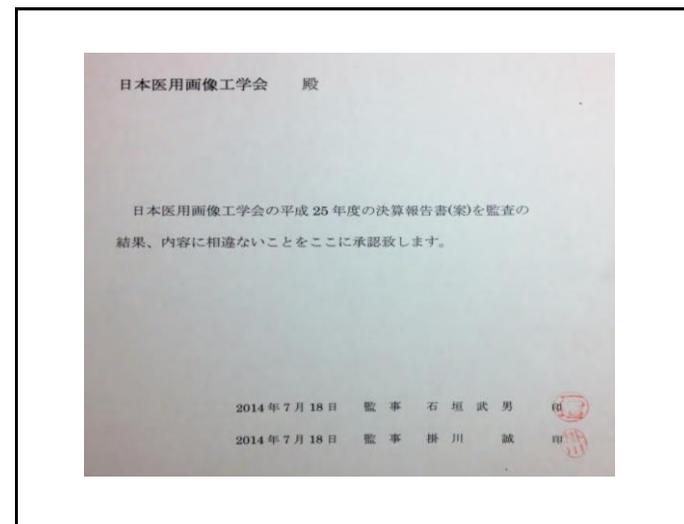
(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 正会員費	3,215,000	3,052,000	△163,000	@1,000x20 入会金 @8,000x379 年間費
2. 学生会員費	300,000	306,000	6,000	@3,000x102
3. 賛助会員費	1,680,000	1,440,000	△240,000	@80,000x18口
4. 図書会員費	300,000	299,370	△630	@10,000x4口 @20,000x13口
5. 会誌広告料	0	0	0	
6. 会誌別刷代	1,500,000	740,000	△760,000	
7. 大会事業収入	3,110,000	3,624,554	514,554	
8. 教育事業収入	400,000	274,350	△125,650	
9. ハンドブック販売収入	2,400,000	811,000	△1,589,000	
10. CAD DB	100,000	90,000	△10,000	
11. 雑収入	0	386,076	386,076	
当期収入合計 (A)	13,005,000	11,023,350	△1,981,650	
前年度繰越金	6,736,065	6,736,065		定期預金含む
収入合計 (B)	19,741,065	17,759,415		

2013年度決算 支出

II. 支出の部 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
1. 会誌発行費 5回 31 巻3,4,5号,32 巻1,2号	4,200,000	4,439,997	239,997	ニュースレター含む
2. 大会事業費 1回	3,110,000	3,414,203	304,203	
3. 表彰費	130,000	143,325	13,325	
委員会費				
4. CAD委員会関連費	50,000	0	△ 50,000	
事業補助金				
5. JAMIT FRONIER大会補助費	100,000	80,210	△ 19,790	
6. 研究会補助費	100,000	200,840	100,840	
事業費				
7. ハンドブック販売費	600,000	177,000	△ 423,000	
8. 教育事業費	400,000	199,920	△ 200,080	
幹事会・常任幹事会・事務費				
9. 会議費	100,000	92,980	△ 7,020	
10. 旅費交通費	700,000	556,496	△ 143,504	
11. 広報関係費	1,150,000	640,920	△ 509,080	
12. 事務局費	960,000	756,420	△ 203,580	
13. 備品・消耗品	30,000	0	△ 30,000	
14. 印刷費	50,000	154,455	104,455	
15. 通信費	100,000	104,767	4,767	
16. 雑費	50,000	2,467	△ 47,533	
当期支出合計 (C)	11,830,000	10,964,000	△ 866,000	
当期収支差額 (A-C)	1,175,000	59,350	△ 1,115,650	
次期繰越収支差額 (B-C)	7,911,065	6,795,415	△ 1,115,650	
支出合計	19,741,065	17,759,415	△ 1,981,650	



2014年度予算 収入

I. 収入の部 (単位:円)

科 目	14予算額	13予算額	備 考
1. 正会員費	3,215,000	3,215,000	@1000x 入会金 @8000x 年間費
2. 学生会員費	300,000	300,000	@3000x
3. 賛助会員費	1,520,000	1,680,000	@80,000x 19口
4. 図書会員費	300,000	300,000	@10000x4口 @20000x13口
5. 会誌広告料	0	0	
6. 会誌別刷代	800,000	1,500,000	
7. 大会事業収入	3,500,000	3,110,000	
8. 教育事業収入	400,000	400,000	
9. ハンドブック販売収入	1,000,000	2,400,000	
10. 雑収入	100,000	100,000	
当期収入合計 (A)	11,135,000	13,005,000	
前年度繰越金	6,795,415	7,222,798	定期預金分を追加しました
収入合計 (B)	17,930,415	20,227,798	

2014年度予算 支出

II. 支出の部 (単位:円)

科 目	14予算額	13予算額	備 考
1. 会誌発行費 5回 32 巻3,4,5号,33 巻1,2号	4,200,000	4,200,000	ニュースレター含む
2. 大会事業費 1回	3,500,000	3,110,000	大会事業収入支出は同じ
3. 表彰費	130,000	130,000	
委員会費			
4. CAD委員会関連費	50,000	50,000	
事業補助金			
5. JAMIT FRONIER大会補助費	100,000	100,000	
6. 研究会補助費	100,000	100,000	
事業費			
7. ハンドブック製作費	180,000	600,000	
8. 教育事業費	400,000	400,000	
幹事会・常任幹事会・事務費			
9. 会議費	100,000	100,000	
10. 旅費交通費	700,000	700,000	
11. 広報関係費	1,000,000	1,150,000	
12. 事務局費	960,000	960,000	
13. 備品・消耗品	30,000	30,000	
14. 印刷費	50,000	50,000	
15. 通信費	100,000	100,000	
16. 雑費	50,000	50,000	
当期支出合計 (C)	11,650,000	11,830,000	
当期収支差額 (A-C)	△ 515,000	1,175,000	
次期繰越収支差額 (B-C)	6,280,415	8,397,798	
支出合計	17,930,415	20,227,798	

JAMIT規約（2013年度総会時改訂）について

■ 役員選任規定

・趣旨

役員のスムーズな交代、刷新の恒常化を図る。
学会運営に欠かせない役員任期延長

・内容

新役員選任プロセスの明確化
任期を超える役員再任プロセス

上記規約変更に基づき、役員交代、刷新を推進中。

2014年度 役員人事関係一覧 1/6

(2014年7月25日)

■ 退任

副会長	安藤 裕 尾川 浩一	(放医研 重粒子医科学センター病院) (法政大学)
常任幹事	本間 一弘 井桁 嘉一	(産業技術総合研究所) (日立メディコ)
幹事	山本 裕 加野 亜紀子 神谷 潔	(横河医療ソリューションズ) (コニカミノルタ) (富士フイルム)
監事	掛川 誠	(浜松ホトニクス)

2014年度 役員人事関係一覧 2/6

(2014年7月25日)

■ 新任

副会長	細羽 実 羽石 秀昭	(京都医療科学大学) (千葉大学)
常任幹事	小尾 高史 原 武史 山谷 泰賀 原口 剛	(東京工業大学) (岐阜大学) (放射線医学研究所) (コニカミノルタ)
幹事	尾川 浩一 安藤 裕 掛川 誠 井桁 嘉一 土居 篤博 上村 幸司	(法政大学) (放医研 重粒子医科学センター病院) (浜松ホトニクス) (日立メディコ) (富士フイルム) (香川大学)
監事	今村 裕之	(キヤノン)

2014年度 役員人事関係一覧 3/6 (2014年7月25日)

■ 任期満了後の再任

常任幹事	佐藤 嘉伸 東木 裕介	(奈良先端技術大学院大学) (東芝メディカルシステムズ)
幹事	勝俣 健一郎 北坂 孝幸 杉本 直三 平野 靖 森 雅樹	(国際医療福祉大学) (愛知工業大学) (京都大学) (山口大学) (札幌厚生病院)

2014年度 役員人事関係一覧 4/6 (2014年7月25日)

■任期中

会長 :	縄野 繁	(国際医療福祉大学)
副会長 :	長谷川 純一	(中京大学)
常任幹事 :	福田 国彦 工藤 博幸 清水 昭伸 湯浅 哲也	(東京慈恵医科大学) (筑波大学) (東京農工大学) (山形大学)
幹事 :	稲邑 清也 大山 永昭 木戸 尚治 武田 徹 塚本 信宏 仁木 登 速水 昭雄 藤田 広志 増谷 佳孝 目加田 慶人 森 健策	(大阪大学) (東京工業大学) (山口大学) (北里大学) (さいたま赤十字病院) (徳島大学) (亀田総合病院) (岐阜大学) (東京大学) (中京大学) (名古屋大学)

2014年度 役員人事関係一覧 4/6 (2014年7月25日)

■任期中 (続き)

幹事 :	森 健策 大松 広伸 小笠原 克彦 黒木 嘉典 真田 茂 滝沢 穂高 陳 延偉 中田 典生 花岡 昇平 岡田 和久 伊藤 俊英 篠川 毅	(名古屋大学) (国立がんセンター東病院) (北海道大学) (栃木がんセンター) (金沢大学) (筑波大学) (立命館大学) (東京慈恵医科大学) (東京大学) (京都大学) (シーメンス) (島津製作所)
監事 :	石垣 武男	(名古屋大学)

第32回大会「大会奨励賞」受賞者

2013年9月メルマガおよびホームページで発表/10月賞状・副賞送付

演題番号	発表者	所属	タイトル
OP1-1	田山 貴大	筑波大学大学院システム情報工学研究科	コンピュータサイエンス専攻 イメージサイエンス研究室
MRF画像領域分割問題のグラフカットを用いない厳密解法 - 簡単なプログラムで実装可能な新手法 -			
OP3-3	松崎 哲朗	名古屋大学大学院情報科学研究科	
血管構造解析のための腹部動脈および肝門脈系に対する解剖学的名称の自動対応付け			
OP7-3	田島 英朗	日本学術振興会特別研究員PD(放射線医学総合研究所)	
ブリッジ検出器によるDual-Ring OpenPETの画質改善効果の検討			
OP7-5	石川 雅浩	東京工業大学 学術国際情報センター	
[HE染色肝病理組織標本における索状構造の配列の乱れ定量化法の提案]			
OP8-5	伊藤 公輔	(株)日立メディコ MRIシステム本部 ソフト開発部	
T1緩和の影響を排除した高速B1 mapの開発			
PP2-5	健山 智子	立命館大学情報理工学部知的画像処理研究室	
球面調和関数による人体臓器の統計形状モデルの構築と性能評価			
PP2-14	宇戸 真弥	名古屋工業大学 本谷研究室	
臓器表面の空間的連続性を表現するPDMのための統計形状モデルの基礎検討			
PP2-23	福田 紀生	大阪大学大学院情報科学研究科	
腫瘍を有する腎臓の造影CT画像からの自動セグメンテーション			

2013年度

MIT誌「論文賞」受賞者

論文名:

患者に特化した肝臓情報とその脈管分布
可視化および対話かつ直感的な手術支援
システムの構築

Vol.31, No.3

健山智子, 海堀昌樹, 進藤典, Amir Hossein FORUZAN,
林正倫, 宮脇康介, 津田匠, 松井康輔, 権雅憲, 韓先花,
姜慧研, 陳延偉
(立命館大学, 関西医科大学, Northeastern University)

次回の大会のお知らせ

第34回日本医用画像工学会大会 (JAMIT2015)

大会長:真田 茂(金沢大学)

(予定)

会 期:2015年7月30(木)~8月1日(土)

会 場:金沢歌劇座(金沢市下本多町6-27)